

# 道徳通信

～「親友」～

愛西市立八開中学校

道徳通信

令和4年2月4日の授業

～～「友達とは何だろう？」について考えました～～

健太はクリスマス会のプレゼント交換で、自分が編んだマフラーを出すとみんなに笑われてしまいます。顔が上げられない健太に「健太君って、天才？」と言って救ってくれたのが美咲でした。

同じクラスになった健太と美咲はすぐに仲良くなり、二人は親友になります。母は、健太が「美咲は女なのにサッカーも釣りもうまい」と言うのを聞いて、「女だとか男だとか関係なく、自分らしく堂々と生きている美咲さんはすてき」と言い、健太はそのとおりだと思います。

しかし、中学に入り、美咲と遊んでいると同級生から「女とばかり遊んでるのかよ」とからかわれてしまいます。健太は何も言えず、突っ立ってしまいます。美咲はそんな健太を見て教室を出ていきます。沈黙の後、健太は美咲を追って走り出しました。

異性の友達と友情を育んできた生徒の物語を通して、友達とは何なのかについて考えました。

●● ●●くん

同級生に言われた時は、言い返すことができなかったけど、美咲が言ってくれたから男女で遊んでいけないことはないのだと気付いた。

●● ●●くん

男女は関係ない。自分達の仲がよければ他からの批判とかは関係ない。決意したのはお互いを信頼・信じていたから。

●● ●●くん

親友とは、どんな時も自分といつも一緒に居てくれて、お互いを信頼している友達。決意したのは、周りの人たちとは関係なく、やっていこうと思ったから。

●● ●●佐藤 宏太くん

今回の授業で親友が女子でも気が合えばいいと思った。仲がいいだけなのに周りから何か言われるのは違うと思う。

●● ●●くん

授業前は「友達とは？」と聞かれた時に大切とかしか思いつかなかったけど、友達とは裏切らない仲間だと思った。

●● ●●さん

親友はそんなに簡単にできるものではないと思いました。親友でも喧嘩や言い合いをするからそういう時に二人でカバーし合えるのが、ちゃんとした「親友・友達」だと思ったからです。

●● ●●さん

親友とは異性など関係なくその人として楽しいことがたくさんあったり、自分を打ち明けることができる仲だと思った。健太が決意できた理由は美咲とそのままの関係が望ましいと伝えたかったからだと思った。

●● ●●さん

心から一緒にいたいと思う人が友達なのかなと思いました。誰かの目を気にしたりすることなく、自分の思うがままに友達と過ごせるようになりたいと思いました。

●● ●●さん

友達とは自分とその友達だけの関係であって、他の人に何か言われても気にする必要はないと思った。友達＝大切と軽く思っていたけど、深く考えてみると友達とはとても大切な存在だと感じた。